

Asprova My Schedule セットアップ手順書

対象バージョン: Asprova My Schedule ver. 1.3以降

1.目次

1.目次

2.Asprova My Schedule とは？

3.Asprova My Scheduleを起動しよう

手順3_01:Asprovaの最新版をインストールしよう

手順3_02:Asprova My Scheduleを起動しよう

手順3_03:WEBブラウザからMy Scheduleに接続しよう

手順3_04:My Scheduleにログインしよう

手順3_05:プロジェクトを追加しよう

手順3_06:プロジェクトの詳細設定をしよう

4.Asprovaから計画データをアップロードしよう

手順4_01:Asprova側の設定をしよう

手順4_02:Asprovaから計画データをアップロードしよう

手順4_03:アップロードした計画データをWEBブラウザで見よう

5.My scheduleで計画データを共有しよう

手順5_01:ユーザを追加しよう

手順5_02:ユーザを招待しよう

6.専用のサーバでMy Scheduleを運用しよう

手順6_01:Asprova My Scheduleをダウンロードしよう

手順6_02:Asprova My Scheduleを起動しよう

7.My Scheduleを最新版に更新しよう

手順7_01:My Schedule モジュールを更新しよう

手順7_02:プラグインを更新する

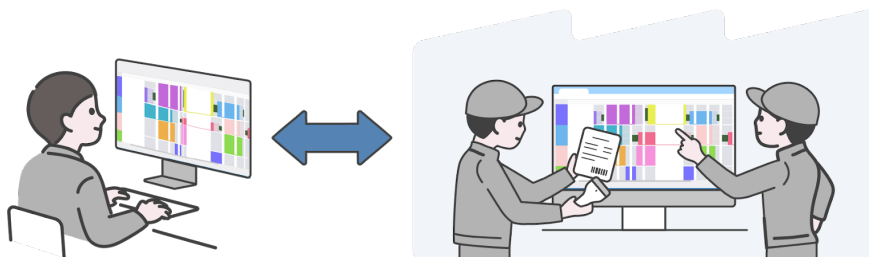
手順7_03:データを再アップロードする

8.Q & A

2.Asprova My Schedule とは？

Asprova My Scheduleは、Asprova専用のWebアプリです。

Asprovaで立てた生産計画をWebブラウザ経由で閲覧することができるので、工場の作業者が現場のPCやモバイル端末から最新の計画にアクセスして、自分の工程確認や、実績の入力を行うことができます。



Asprova My Scheduleは、バージョン17.6以降のAsprovaをお使いの方ならすぐに使い始めることができます。

以下の手順を参考にして、Asprova My Schedule の評価、運用をはじめましょう。

3.Asprova My Scheduleを起動しよう

バージョン17.6以降の64bit版Asprovaをインストールすると、My Scheduleを簡単に始められるように、必要なアプリケーションやプラグインが自動でインストールされます。

まずは、バージョン17.6以降の64bit版Asprovaをインストールして、My Scheduleのフリープランを動かしてみましよう。

手順3_01:Asprovaの最新版をインストールしよう

[公式サイトダウンロードページ](#)から最新版のAsprovaをダウンロードしてインストールしてください。

手順3_02:Asprova My Scheduleを起動しよう

スタートメニューにAsprova My Scheduleが追加されていますので、クリックして起動します。



My Schedule コントロールパネルのウィンドウが開きました。
ウィンドウ右上の[▶ 起動する]ボタンを押して、My Scheduleを起動しましょう。



Asprova My Schedule コントロールパネル

My Scheduleコントロールパネルは、My Scheduleを利用する間、起動したままにしておく必要があります。

PCが起動する時に、自動でMy Scheduleコントロールパネルを起動する設定も可能です。

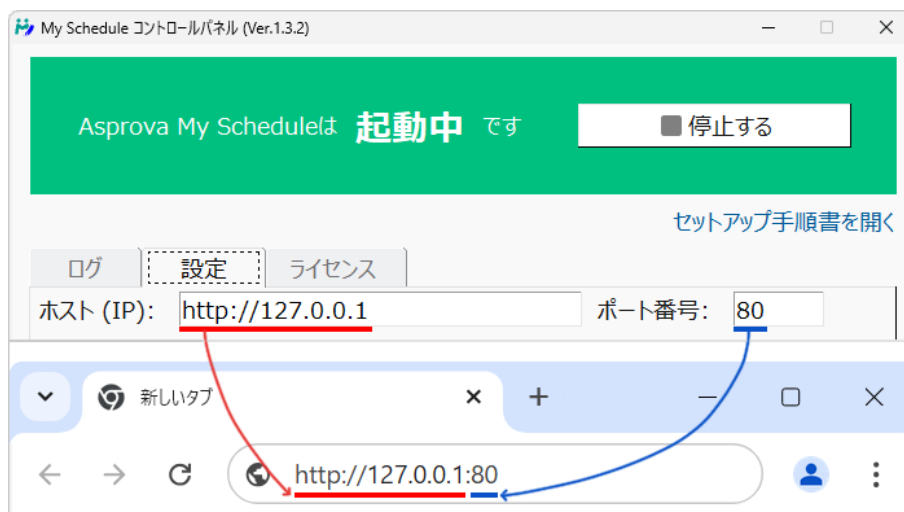
[Q 01:My Scheduleを自動で起動したい...▼](#)

手順3_03:WEBブラウザからMy Scheduleに接続しよう

WEBブラウザを立ち上げてMy Scheduleに接続してみましょう。

My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブに記載されている、ホスト(IP)とポート番号を組み合わせたものが、My Scheduleに接続するためのアドレスになります。

ホスト(IP)の欄に記載されている文字列とポート番号の欄に記載されている数値を:(半角コロン)で繋げた文字列を、WEBブラウザに入力してEnterを押してください。



注)デフォルトで設定されているアドレス(http://127.0.0.1)でアクセスする場合、My Scheduleコントロールパネルを起動しているPC上でWEBブラウザを立ち上げてアクセスしてください。

注)ホスト(IP)やポート番号を変更して、他のPCやモバイル端末からアクセスできるように設定することも可能です。

[Q 02:Asprova体験ツアーで作成したプロジェクトにアクセスしたい...▼](#)

[Q 03:ブラウザからMy Scheduleに接続できない!...▼](#)

[Q 04:httpsで接続したい!...▼](#)

手順3_04:My Scheduleにログインしよう

ログイン画面が表示されますので、adminアカウントでログインします。

adminアカウントでログインすることで、計画データの共有に必要な設定が可能になります。

以下のユーザ名と初期パスワードでログインしましょう。

ユーザ名	admin
初期パスワード	*qkCMt4Ut5

[Q_05:ブラウザからMy Scheduleにログインできない!...▼](#)

ログインすると、adminアカウントで設定可能な項目が表示されます。
 まだ何もプロジェクトが無い場合は、プロジェクトを追加しましょう。



手順3_05:プロジェクトを追加しよう

プロジェクトの追加は「プロジェクト管理」で行います。
 [プロジェクト管理]ボタンを押して、プロジェクト管理画面を表示しましょう。



[+プロジェクトを追加する]ボタンを押して、プロジェクトを追加しましょう。
表示されるウィンドウにプロジェクトの概要を記入してください。
プランはフリープランを選択してください。

[Q 06:ビュープラン／スタンダードプランを利用したい...▼](#)

[Q 07:ビュープラン／スタンダードプランのライセンス認証方法を知りたい...▼](#)

[作成する]ボタンを押すとポップアップウィンドウが閉じて、作成したプロジェクトがリストに表示されます。



プロジェクトが追加された様子

作成したプロジェクトのプロジェクト名をクリックして、プロジェクトを見てみましょう。

作成したばかりのプロジェクトでは、「このプロジェクトには画面が設定させていません。」というメッセージが表示されます。

[プロジェクトの詳細設定]ボタンを押して、プロジェクトの内容を設定しましょう。

手順3_06:プロジェクトの詳細設定をしよう

プロジェクトの詳細設定では、以下の項目が設定できます。

・基本情報

プロジェクトの基本的な情報を編集、確認できます。

・画面設定

プロジェクトで共有する画面を選択します。

・ユーザー設定

プロジェクトを共有するユーザと権限を設定できます。

ここでは「画面設定」で[資源ガントチャート]を追加した例で説明を進めます。

共有する画面にチェックマークがついていることを確認して[保存する]ボタンを押してください。

ウィンドウ左上の[戻る]ボタンを押して、前の画面に戻り、追加した画面のアイコンをクリックしてみましょう。

「必要なファイルが見つかりませんでした」というメッセージが表示される場合は、まだ計画データがアップロードされていません。

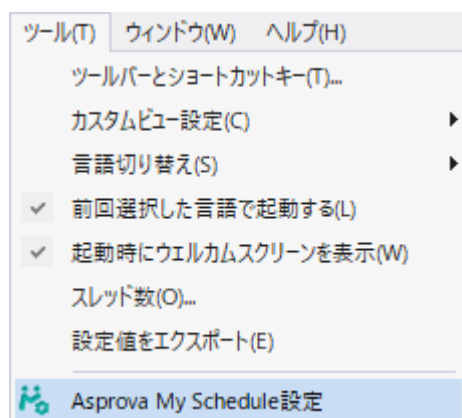
Asprovaから計画データをアップロードしましょう。

4.Asprovaから計画データをアップロードしよう

AsprovaからMy Scheduleにデータをアップロードするための設定をしましょう。

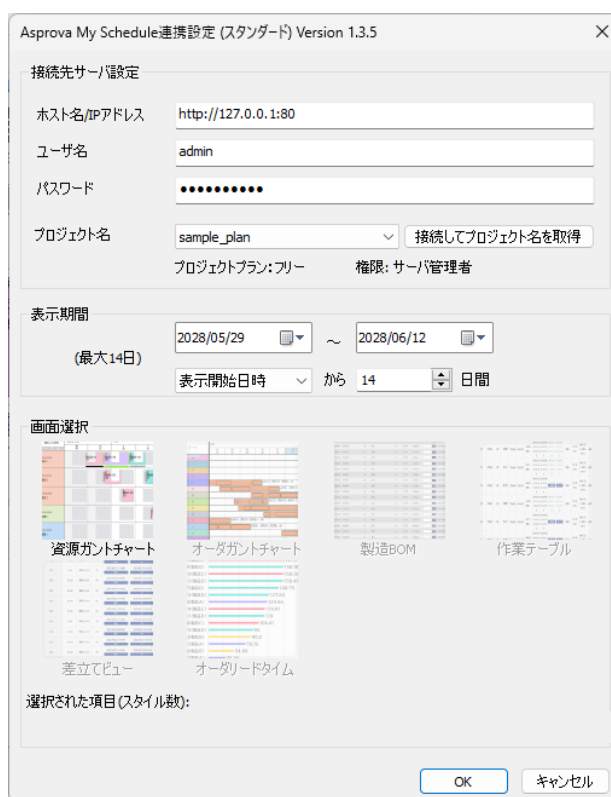
My SceduleにアップロードするプロジェクトをAsprovaで開いて、以下の手順で進めてください。

手順4_01:Asprova側の設定をしよう



Asprovaのメニューバーの[ツール]から
[Asprova My Schedule設定]を選択してください。

Q 08:Asprova My Schedule設定が表示されない!...



Asprova My Schedule連携設定ウィンドウ

Asprova My Schedule連携設定ウィンドウの「接続先サーバ設定」に、先ほどMy Scheduleコントロールパネルで設定した内容を記入します。

ホスト名/IPアドレス	http://127.0.0.1:80
ユーザ名	admin
パスワード	*qkCMt4Ut5

※ホスト/IPアドレスやパスワードを変更した場合は、変更した内容を入力してください。

上記を入力してから[接続してプロジェクト名を取得]ボタンを押すと、「接続できました」というメッセージが表示されます。

Q 09:Asprova My Schedule 連携設定で接続が出来ない!...

「接続先サーバ設定」のプロジェクト名のプルダウンリストから、アップロードしたいプロジェクト名を選択します。

「表示期間」はフリープランの場合14日間です。My Scheduleで表示したい期間を設定してください。

[Q 10:表示期間を変更したい...▼](#)

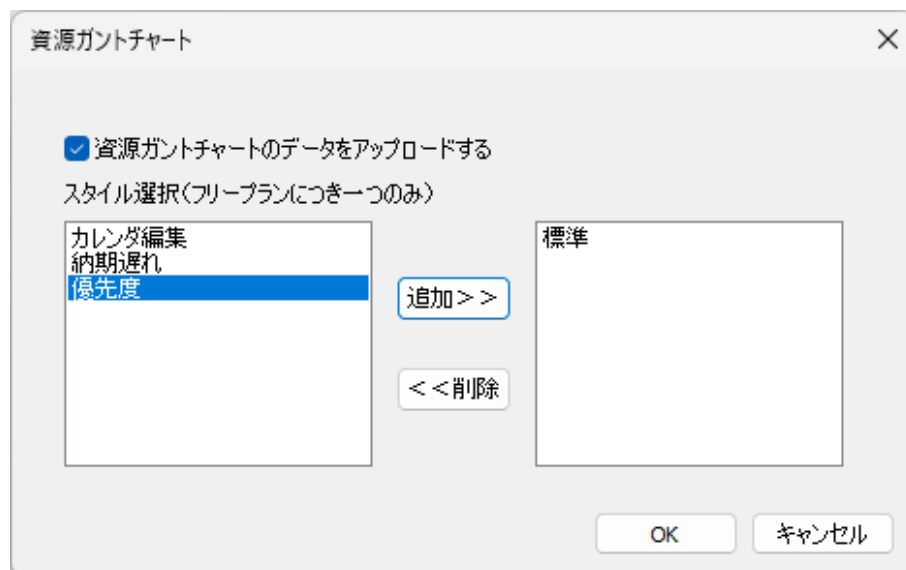
「画面選択」で、アップロードする画面を選択します。
先ほどMy Scheduleの画面設定で選択した画面をこちらでも選択します。

[Q 11:アップロードしたい画面がグレーアウトしていて選べない...▼](#)

各画面のアイコンをクリックすると、どのスタイルをアップロードするか選択するウィンドウが開きます。

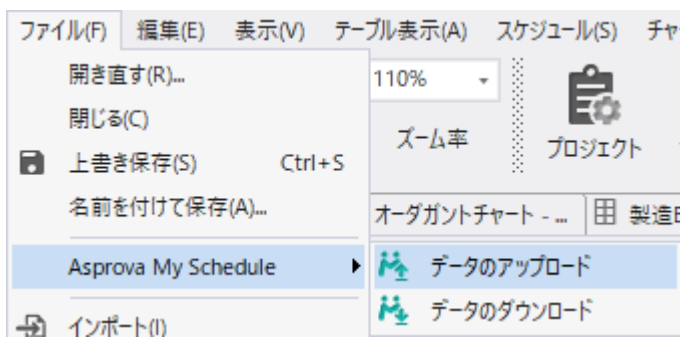
フリープランの場合スタイルはひとつ選べますので、アップロードしたいスタイルを選択して[追加>>]ボタンを押してください。

[Q 12:複数のスタイルを選択したい...▼](#)



設定ができれば[OK]ボタンを押してAsprova My Schedule連携設定ウィンドウを閉じます。

手順4_02:Asprovaから計画データをアップロードしよう

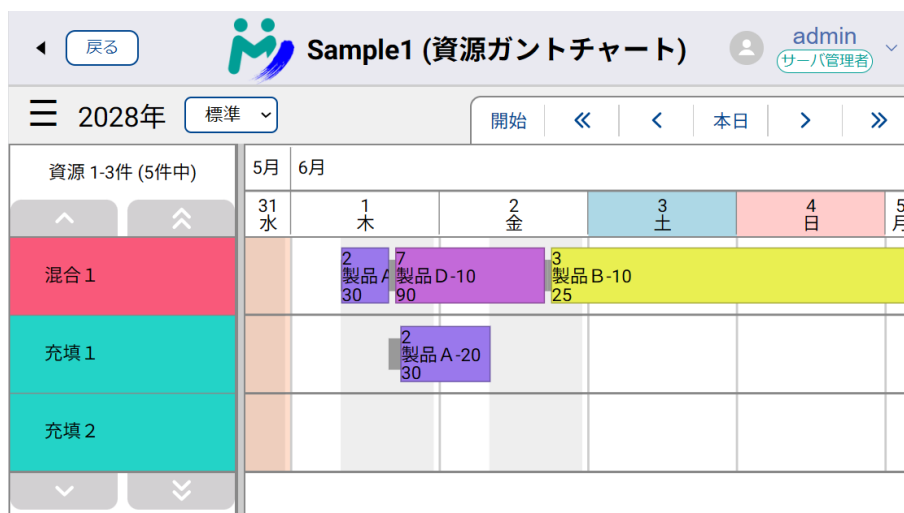


リスケジュールして、作業が割り付いた状態で、メニューバーの[ファイル]から[Asprova My Schedule ▶]>[データのアップロード]を選択してアップロードしましょう。

手順4_03:アップロードした計画データをWEBブラウザで見よう

WEBブラウザに戻って、計画データを見てみましょう。

追加したプロジェクトの画面アイコンをクリックしてみましょう。



My Scheduleで資源ガントチャートを表示した様子

アップロードした計画データと同じスタイルのガントチャートを確認することができました。

[Q 13:選択したスタイルが表示されない!...](#)▼

5.My scheduleで計画データを共有しよう

用意したプロジェクトを他のユーザと共有しましょう。

計画データを他のユーザと共有するには、ユーザを追加してプロジェクトに招待します。

以下の手順に沿って、ユーザの追加と招待を試みましょう。

手順5_01:ユーザを追加しよう

WEBブラウザからMy Scheduleにadminアカウントでログインして、ユーザを追加します。

[ユーザ管理]ボタンを押すと、ユーザ管理画面に切り替わります。

リストに「admin(サーバ管理者)」として表示されているのは自分のアカウントです。

[+新しいユーザを作成する]ボタンを押して、ユーザを追加してみましょう。

ここでは例として、[test_user_001]を作成します。パスワードも適宜設定してください。

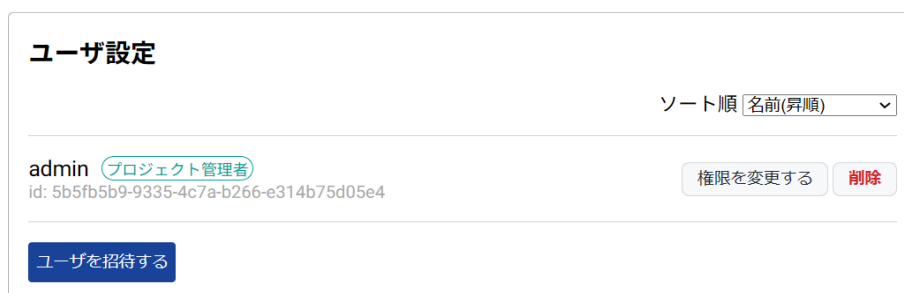


手順5_02:ユーザを招待しよう

追加したユーザを作成したプロジェクトに招待しましょう。

ユーザを招待したいプロジェクトをリストから選択します。

[プロジェクトの詳細設定]ボタンを押して表示される、「プロジェクトのユーザ設定」でユーザの招待ができます。



ユーザの招待方法は2種類あります。

・既存のユーザを招待する

ユーザ管理画面で追加したユーザを検索して、権限の設定と招待ができます。

・新規のユーザを招待する

まだユーザ登録していないユーザを直接招待できます。

プロジェクトにユーザを招待する ×

既に作成されているユーザを招待するには、「既存のユーザを招待する」を利用します。招待したいユーザがまだ作成されていない場合は、「新規のユーザを招待する」を利用する必要があります。

既存のユーザを招待する

ユーザ名かユーザIDを使ってユーザを検索します。追加したいユーザが見つければ、「追加する」をクリックしてプロジェクトにユーザを追加できます。

ユーザー名、あるいはIDを入れて検索 検索する

新規のユーザを招待する

招待されるユーザに設定される権限を選択し、「招待を作成する」を押してください。作成されたメッセージ内のリンクを使ってユーザ登録することで、このプロジェクトに設定した権限で参加できるようになります。招待リンクは1回しか使用できません。複数のユーザを招待するには、複数のリンクを作成してください。

プロジェクトの権限: 閲覧のみ ▼ 招待を作成する

先ほどユーザ管理画面で登録したユーザ「test_user_001」を招待してみましょう。

[test]などの文字を入力して[検索する]ボタンを押すと、リストに候補が表示されます。

リストから招待するユーザを選択して権限の設定を行い、「追加する」ボタンを押すことでプロジェクトに招待できます。

新規のユーザを招待する方法も見てみましょう。

権限を選択して[招待を作成する]ボタンを押しましょう。

新規のユーザを招待する

招待されるユーザに設定される権限を選択し、「招待を作成する」を押してください。作成されたメッセージ内のリンクを使ってユーザ登録することで、このプロジェクトに設定した権限で参加できるようになります。招待リンクは1回しか使用できません。複数のユーザを招待するには、複数のリンクを作成してください。

プロジェクトの権限: 閲覧のみ ▼ 招待を作成する

Asprova My Schedule 上のユーザ admin(id: 5b5fb5b9-9335-4c7a-b266-e314b75d05e4) さんから、プロジェクト「sample_plan」(id: e80c987c-25a7-408a-9457-cb62424868e7) に招待されました。

Asprova My Schedule では Asprova によって作成された生産計画の閲覧や、実績の入力が可能です。

招待を利用して参加するには、以下のリンクを利用してください。
<http://127.0.0.1/signup?invitation=c2ead7da-6d75-4223-a6b4-000189b0d58e>

メッセージをコピーする

招待メッセージが表示されますので、メッセージをコピーして、メールなどで共有したいユーザに送付して招待しましょう。

招待されたユーザは、メッセージに記載のリンクからMy Scheduleにアクセスしたときに、ユーザ登録を自分で行うことができます。

ユーザはプロジェクトごとに招待や権限設定が可能です。
複数のプロジェクトをアップロードする場合は、プロジェクトごとにユーザの招待を行なってください。

ユーザを招待するウィンドウで以下のメッセージが表示されている場合は、アップロードしたプロジェクトに他のユーザがアクセスできない状態です。

localhost などのループバックアドレスを用いてアクセスしている場合、作成した招待リンクは他のコンピュータから使用することができないので注意してください。他のコンピュータからも使用可能な招待リンクを作成するには、自分のコンピュータのIPアドレスやホスト名を使ってアクセスしてください。

Asprova My Scheduleにアップロードした計画データを、複数のユーザがPCやモバイルデバイスからWEBブラウザで閲覧できるようにしましょう。

WEBブラウザでMy Scheduleのページを表示するためのアドレスを設定します。
My Schedule コントロールパネルの[設定]タブをクリックして開いてください。



最初にMy Schedule コントロールパネルを開いた時に、ホスト(IP)に記載されている”http://127.0.0.1”は、今、自分が使っているPCのアドレスを指定する、特別なIPアドレスです。

このアドレスを他の人に伝えても、”http://127.0.0.1”にアップロードしている計画データを見に来てもらうことができません。

Asprovaを使っているPCのほか、データ共有専用のPCやデータサーバを用意する場合も、PCやサーバに固有に割り当てられたアドレスを設定して、計画データをアップロードすることで、複数のユーザが閲覧できるようになります。

固有のアドレスやポート番号については、社内のネットワーク管理者に情報を聞いて、設定してください。

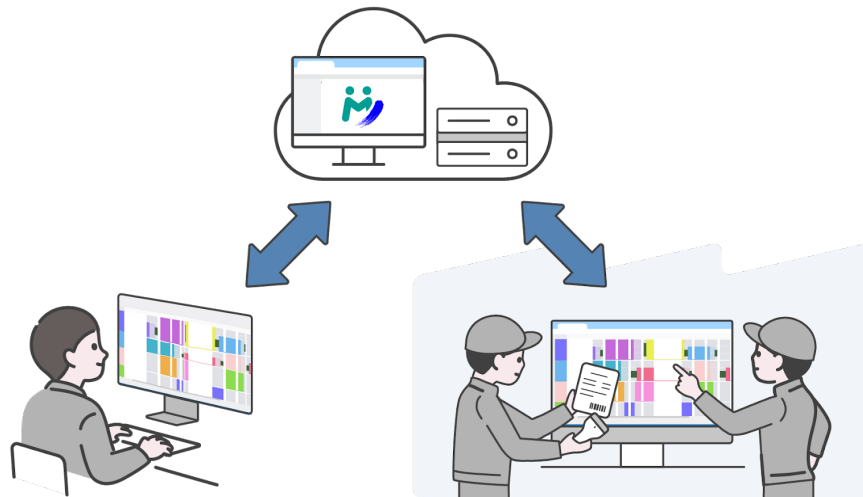
注)My Scheduleコントロールパネルで、ホスト(IP)やポート番号を変更した場合は、Asprova側でもMy Schedule連携設定のホスト(IP)やポート番号を変更して、[接続してプロジェクト名を取得]しなおしてください。

6.専用のサーバでMy Scheduleを運用しよう

これまでは、Asprovaを使う人が同じPCでMy Scheduleを使用する方法を説明してきました。

複数人でMy Scheduleを使用する場合は、社内に専用のサーバを用意して、そこでMy Scheduleを稼働させるのが一般的です。

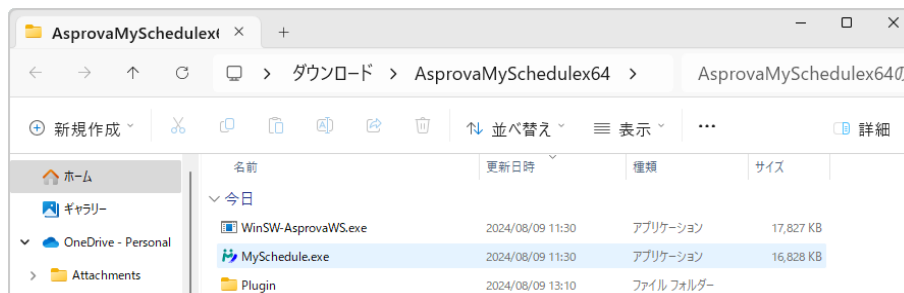
サーバでMy Scheduleを稼働させる場合も、これまでの説明と基本的な使い方は同じですが、My Scheduleを利用するために必要なアプリケーションのインストールが必要になりますので、設定方法を見ていきましょう。



手順6_01:Asprova My Scheduleをダウンロードしよう

[公式サイト](#)の[ダウンロードページ](#)から「Asprova My Schedule モジュール」をダウンロードしましょう。

zipファイルがダウンロードされるので、解凍してください。



手順6_02:Asprova My Scheduleを起動しよう

解凍したフォルダの中にある[My Schedule.exe]を起動すると、My Schedule コントロールパネルが開きます。

手順3_02以降と同様に設定を進めてください。

7.My Scheduleを最新版に更新しよう

Asprova My Schedule モジュールは月に1,2回更新が行われており、その更新内容は[新機能紹介ページ](#)で確認できます。

新たに追加された機能を利用したり、バグ修正を受け取るためには、My Scheduleモジュールを最新版に更新する必要があります。

Asprova My Schedule モジュールを更新しても、サーバに保存されているプロジェクト設定やユーザ設定は失われません。

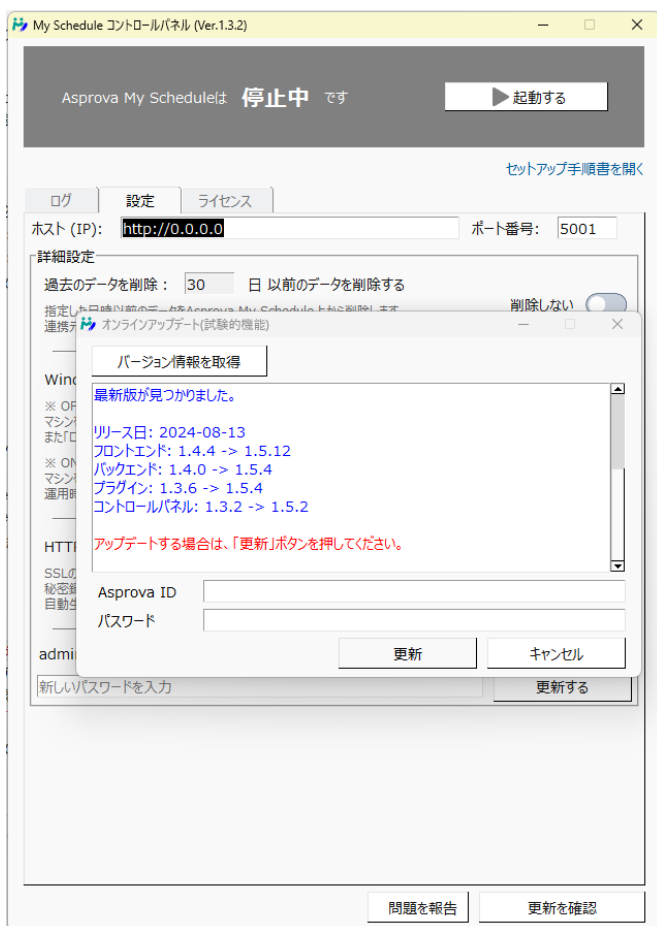
以下で更新方法を確認しましょう。

手順7_01: My Schedule モジュールを更新しよう

My Schedule モジュールを更新するには、A. コントロールパネルの更新ボタンを使う方法と、B. 手動で更新する方法があります。

Aの方法を使用するには、インターネット接続が必要です。

いずれの方法でも、更新前にMy Scheduleを停止する必要があります。



A.コントロールパネルの更新ボタンを使う

コントロールパネルの一番下にある[更新を確認]ボタンを押すと、アップデートダイアログが表示されます。

ダイアログの[バージョン情報を取得]を押すと、最新版の情報を取得できます。

新しいバージョンが見つかった場合は、AsprovaIDとパスワードを入力し、[更新]ボタンを押すことで自動的に更新が行われます。

B.手動で更新する

[公式サイトダウンロードページ](#)からMy Scheduleモジュールをダウンロードし、ダウンロードされたZIPファイルを解凍します。

My Schedule をインストールしてあったフォルダの中身を、解凍したフォルダの中身ですべて上書きします。

手順7_02: プラグインを更新する

手順7_01 でMy Scheduleモジュールを更新したら、次はAsprovaが読み込んでいるMy Scheduleのプラグイン (AsMySchedule.dll) を更新しましょう。

Asprovaが動作している場合は、一旦終了する必要があります。

Asprovaがインストールされているフォルダに移動し、既存のAsMySchedule.dll を更新されたフォルダの「Plugin」フォルダ内の新しいAsMySchedule.dll で上書きしましょう。

プラグインのbit数はAsprovaのbit数と揃える必要がありますので、注意してください。

上書きをしたら、Asprovaを起動し、メニューバーの[ヘルプ] > [プラグイン情報]からAsMySchedule.dll のバージョンが新しくなっていることを確認してください。

また、プラグインを更新した際に、My Schedule連携設定の再設定が必要になることがあります。

メニューバーの[ツール] > [My Schedule連携設定]から連携設定を開いて、設定内容を確認しましょう。

手順7_03: データを再アップロードする

更新によってAsprovaからデータの再アップロードが必要になることがあります。データの再アップロードが必要な場合、My Schedule上で以下のように表示されます。

データの再アップロードが必要です

このMy Schedule フロントエンドのバージョン (1.5.11) には、バージョン (>=1.5.0) のプラグインでアップロードされたデータが必要です。Asprovaに必要なバージョンのプラグインを追加し、My Scheduleにデータの再アップロードを行ってください。

[TOPに戻る](#)

上記のメッセージが出た場合は、新しいバージョンのプラグインを用いて、再アップロードを行ってください。

[Q 15:更新してもブラウザに古いバージョンが表示される...▼](#)

8.Q & A

Q_01:My Scheduleを自動で起動したい

A_01:

My Scheduleコントロールパネルで「設定」タブを開き、「Windowsサービスとして起動する」のトグルスイッチをオンにしてください。Windows起動時に自動で起動するようになります。

Q_02:Asprova体験ツアーで作成したプロジェクトにアクセスしたい

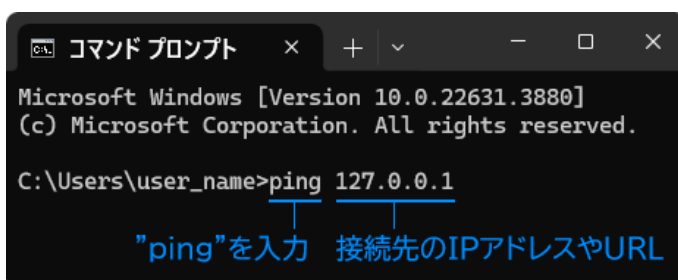
A_02:

Asprova体験ツアーは、簡単にMy Scheduleを体験して頂くために用意した特別な内容です。体験ツアーを起動していない時は、My Scheduleから体験ツアーのプロジェクトにアクセスすることはできません。Asprovaのサンプルファイルを利用するか、運用中のプロジェクトをMy Scheduleにアップロードして評価してください。

Q_03:ブラウザからMy Scheduleに接続できない

A_03:

1. My Scheduleコントロールパネルが立ち上がっていて、My Scheduleを起動しているか、ご確認ください。
2. My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブにある、ホスト(IP):ポート番号と同じアドレスで接続しているか、ご確認ください。
3. 接続できない原因を探るために、コマンドプロンプトを立ち上げ、「ping」と接続先のIPアドレスやURLを入力してEnterキーを押します。



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.3880]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\user_name>ping 127.0.0.1
```

”ping”を入力 接続先のIPアドレスやURL

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.3880]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\user_name>ping 127.0.0.1

127.0.0.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ :
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128

127.0.0.1 の ping 統計:
   パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
   ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
     最小 = 0ms、最大 = 0ms、平均 = 0ms  応答がある
```

(応答がある場合)

サーバーまで、ネットワークの接続はできています。入力したユーザ名やパスワードに間違いはないか、もう一度ご確認ください。また、pingは通るものの、設定したポート番号だけファイアウォールに弾かれているケースも考えられます。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.3880]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\user_name>ping 127.0.0.1

127.0.0.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ :
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。

127.0.0.1 の ping 統計:
   パケット数: 送信 = 4、受信 = 0、損失 = 4 (100% の損失)、
   ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
     最小 = 0ms、最大 = 0ms、平均 = 0ms  応答がない
```

(応答がない場合)

サーバーにアクセスできませんので、ネットワークやファイアウォールの設定をご確認ください。また、Asprovaのメニューバーの[ヘルプ]>[プラグイン情報]でプラグイン情報ウィンドウを開き、モジュール名のリストに「AsMySchedule.dll」がない場合、プラグインファイル(AsMySchedule.dll)がAsprova本体と同じディレクトリにあることを確認してください。

Q_04:httpsで接続したい

A_04:

My Scheduleコントロールパネルで「設定」タブを開き、「HTTPSを有効にする」のトグルスイッチを有効にしてください。独自の証明書をprivatekey.pem/cert.pemという名前でAsprovaWS/sslフォルダの中に配置してください。sslフォルダがない場合は作成してください。

Q_05:ブラウザからMy Scheduleにログインできない

A_04:

- ユーザ名とパスワードを間違えていないか、ご確認ください。
 - 初期パスワードからパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。
 - パスワードがわからない場合は、My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブにある「adminアカウントのパスワード」項目で、新しいパスワードを入力して[更新する]ボタンを押してください。
-

Q_06:ビュープラン／スタンダードプランを利用したい

A_06:

My Scheduleのビュープラン、スタンダードプランを利用するためには、別料金のオプションが必要です。オプション契約をしていただいた方は、以下の設定で機能を有効化してください。

1. Asprovaのメニューバーで、[ヘルプ]>[ユーザ登録]をクリックします。ポップアップウィンドウの右側にあるオプション機能リストの中に、Asprova My Schedule連携オプション（フリープラン）、Asprova My Schedule連携オプション（ビュープラン）、Asprova My Schedule連携オプション（スタンダードプラン）にチェックが入っているかをご確認ください。
 - オプションのチェックボックスが存在するが、チェックが入っていない。⇒ チェックを入れてください。
 - オプションのチェックボックスが存在し、チェックが入っている。⇒ 2を確認してください。
 - オプションのチェックボックスが表示されない ⇒ My Schedule連携オプションを購入したシリアルで、Asprovaにログインしてください。
 2. Asprova My Scheduleにadminアカウントでログインし、該当のプロジェクトがスタンダード(ビュー)プランで作成されているかを確認し、必要なら変更してください。
-

Q_07:ビュープラン／スタンダードプランのライセンス認証方法を知りたい

A_07:

My Scheduleコントロールパネルで設定を行います。この設定を行う際は、コントロールパネルを管理者権限で開いている必要があります。管理者権限で開いていない場合は、コントロールパネルを閉じてから、再度管理者権限で起動してください。

1. コントロールパネルの「ライセンス」タブを開き、フィンガープリントファイルを生成するためのドライバーをインストールします。「インストール」ボタンを押して、指示に従います。
2. 「生成する」ボタンを押してフィンガープリントファイルを生成します。「asfingerprint.c2v」ファイルが出力されますので、そちらを弊社に送付してください。「asfingerprint.c2v」を送付いただいた後、正式認証ファイル「aslicenseXXXX.v2c」を送付いたします。
3. この時点では、まだ有料プランをご利用いただけません。正式認証ファイルの送付には数日間必要となります。余裕をもって認証手続きを進めてください。
4. 正式認証ファイル「aslicenseXXXX.v2c」(XXXXはシリアルNo)をご用意の上、操作を進めてください。コントロールパネルを起動して、「読み込み」を押下し、正式認証ファイル「aslicenseXXXX.v2c」を選択します。

以上の手順を行うと、有料プランが利用可能になります。

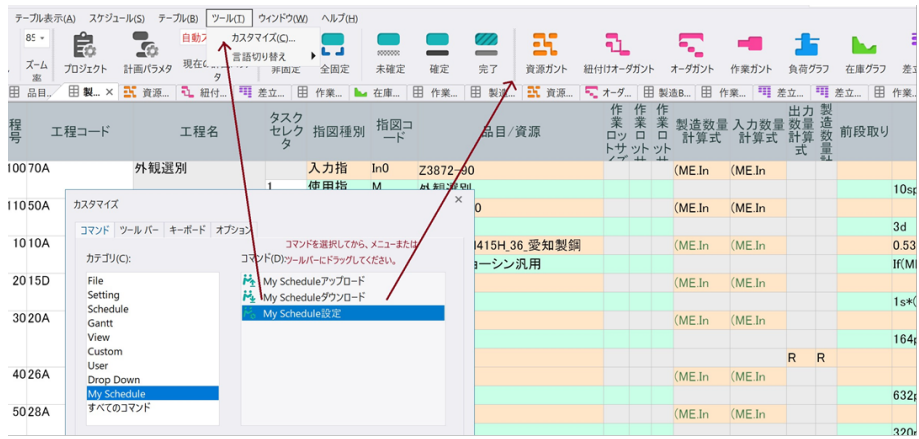
Q_08:Asprova My Schedule設定が表示されない

A_08:

カスタムメニューを使用している(メニューバーの[表示]メニュー内の最下部にある[カスタムメニュー]にチェックが入っている)場合はMy Schedule関連のメニューは非表示になります。その場合はカスタムメニューを無効にするか、以下の手順でMy Schedule関連のメニューを、お使いのカスタムメニューに追加してください。

(ツールバーへの追加手順)

メニューバーの[ツール]>[ツールバーとショートカットキー]で「カスタマイズ」ダイアログを起動し、My Schedule関連のメニューを希望する場所にドラッグアンドドロップします。



Q_09:Asprova My Schedule連携設定で接続できない

A_09:

My Scheduleコントロールパネルの設定タブで入力したホスト(IP)とポート番号を、My Schedule連携設定も同じ内容で設定しているかご確認ください。

Q_10:表示期間を変更したい

A_10:

My Schedule連携設定の「表示期間」で表示期間を設定できます。

表示期間の定義は下記を参照してください。

画面	表示期間の定義
資源ガントチャート	作業の開始、終了日時
オーダガントチャート	オーダの一番早い作業の開始日時と一番遅い作業の終了日時
製造BOM	(対象外)
作業テーブル	作業の開始、終了日時
差立てビュー	作業の開始、終了日時
オーダリードタイム	オーダの一番早い作業の開始日時と一番遅い作業の終了日時

例えば、表示期間を「2024年1月1日～2024年6月1日」に設定した場合、資源ガントチャートでは、開始日時と終了日時が2024年1月1日から2024年6月1日までの作業のデータをアップロードします。

表示期間は、ふたつの選び方があります。

1. 日時を直接編集する方法
2. 左側にあるコンボボックスから、「割付開始日時」、「計画基準日時」と「表示開始時」からひとつを選んで、右側にあるテキストボックスで日数を入力する方法。

スタンダードプラン、ビューワプランでは、表示期間が無制限で、自由に指定することができます。フリープランの場合は、表示期間は最大14日間になります。

* 無制限の場合でも、表示期間を設定する必要があります。

Q_11:アップロードしたい画面アイコンがグレーアウトしていて選べない

A_11:

Asprova My Scheduleにadminアカウントでログインし、該当のプロジェクトで使用する画面アイコンにチェックが入っているかどうかを確認してください。

※アップロードするには、プロジェクト管理者またはサーバー管理者の権限が必要です。閲覧・実績入力可や、閲覧のみの権限のアカウントではアップロードできません。権限を変更する場合は、Asprova My Scheduleに上記の権限でログインしたうえで設定してください。

ブラウザで入力した実績等をAsprovaに取り込みたい場合は、Asprovaのメニューバーの[ファイル]>[Asprova My Schedule ▶]>[データのダウンロード]を実行してください。

※ダウンロードは、フリープランとスタンダードプランの場合に使用可能です。ビューワプランでは使用することができません。

Q_12:複数のスタイルを表示したい

A_12:

Asprovaでスタイルを複数設定している画面は、My Scheduleにどのスタイルをアップロードするか選ぶことができます。

フリープランの場合、スタイルはひとつのみ選択可能です。

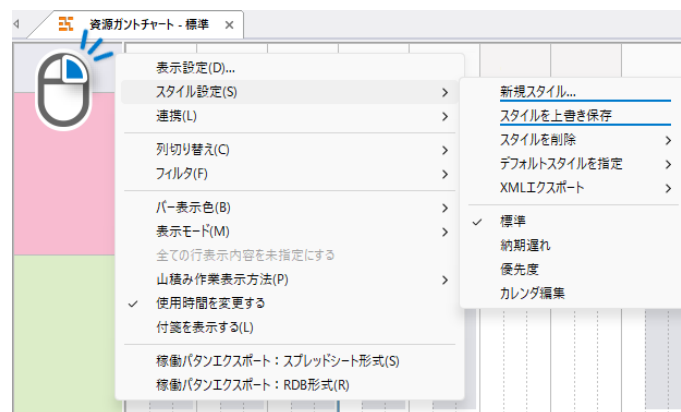
複数のスタイルを表示したい場合は、スタンダードプラン、ビューワプランの利用をご検討ください。

Q_13:選択したスタイルが表示されない

A_13:

Asprovaのガントチャートやテーブルで表示を整えた後、スタイルを保存しているかご確認ください。

スタイルを保存するには、チャートやテーブルの左上で右クリックして表示されるメニューから[スタイル設定] > [新規スタイル...]あるいは[スタイルを上書き保存]を選択してください。



Q_14:推奨動作環境が知りたい

A_14:

ハードウェア	動作環境
データ共有専用のPC データサーバ	有効なサポートがあるWindowsの64bit版 <ul style="list-style-type: none">Windows 10 22R2Windows 11Windows Server 2016以降 要求スペック <ul style="list-style-type: none">CPU: 2コア以上 (ARMでは動作しません)メモリ: 4GB以上

	<ul style="list-style-type: none">• HDD: 300MB以上
スケジュールを閲覧する端末 (PC/タブレット等)	最新版のChromeを推奨しますが、他のブラウザでもほぼ問題なく表示できます。

Q_15:更新してもブラウザに古いバージョンが表示される

A_15:

ブラウザ上でMy Scheduleを表示した状態で、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら[F5]キーを押してください。

上記方法でも古いバージョンが表示される場合は、ブラウザの設定でキャッシュをリセットしてください。
